

議員提出議案第1号

橋本市民病院への通院手段の確保を求める決議について

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第14条第1項の規定により提出します。

令和2年9月18日 提出

提出者	橋本市議会議員	田中	博晃
〃	橋本市議会議員	岡本	安弘
〃	橋本市議会議員	垣内	憲一
〃	橋本市議会議員	森下	伸吾
〃	橋本市議会議員	板橋	真弓
〃	橋本市議会議員	辻本	勉
〃	橋本市議会議員	石橋	英和
〃	橋本市議会議員	杉本	俊彦
〃	橋本市議会議員	南出	昌彦
〃	橋本市議会議員	高本	勝次
〃	橋本市議会議員	阪本	久代
〃	橋本市議会議員	小林	弘
〃	橋本市議会議員	小西	政宏
〃	橋本市議会議員	堀内	和久
〃	橋本市議会議員	樽井	豪男
〃	橋本市議会議員	岡	弘悟
〃	橋本市議会議員	中本	正人

橋本市民病院への通院手段の確保を求める決議

市は、平成30年のほぼ1年をかけて、地域懇談会や市民アンケート調査、コミュニティバスの乗降調査などを行い、市民の声を聴きながら「橋本市地域公共交通再編実施計画」を作成し、橋本市生活交通ネットワーク協議会の協議を経て、令和2年1月4日から公共交通網の再編を実施した。

再編においては、市民の利便性の向上や民間と行政の輸送サービスの競合解消など3つの課題を解決するために、主要駅への直接乗り入れや橋本市民病院無料送迎バスの統廃合などの5つのポイントを洗い出し見直しを行っている。

しかしながら、再編後に橋本市民病院に通院している市民の方からは、「見直しにより、経済的に大きな負担となる割高なタクシーを利用しなければ早朝の診療時間に間に合わない」「直通バスが無くなったため、公共交通機関やコミュニティバスを乗り継ぐ必要があり、移動時間が長時間になってしまうため体力的な負担が大きい」などの利便性は低下したとの声が多く届いている。

橋本市民病院は、個人病院や個人診療所からの紹介で受診することも多い市民の生命を守る地域の中核病院であり、利便性の低下は由々しき問題である。

また、他の市内民間病院が無料送迎バスを実施していること等から、橋本市民病院においても患者離れがあると聞いている。

よって、橋本市においては、次の事項を講ずるよう要請する。

1. 橋本市民病院利用者の利便性を向上できるよう、予約制デマンド交通等の導入を早急に検討すること。
2. 次回の公共交通網再編において、橋本市民病院利用者の利便性を向上し早朝の診療時間に間に合うルートを構築すること。

以上、決議する。

令和 年 月 日
橋 本 市 議 会